「ティヤラゆえに、何らかの必要な物事を行うことを止めてしまう者は、シルクを犯しているのである。」人々は言った：「その贖罪は何ですか？」彼は言った：「『アッラーフンマ・ラー・ タイラ・イッラー・タイルカ。ワ・ラー・ハイラ・イッラー・ハイルカ。ワ・ラー・イラーハ・ガイルカ』と言うことである。」

アブドッラー・ブン・アムル・ブン・アル＝アース（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「ティヤラ
（鳥その他の被造物と吉兆を結びつける迷信）ゆえに、何らかの必要な物事を行うことを止めてしまう者は、シルクを犯しているのである。」人々は言った：「その贖罪は何ですか？」彼は言った：「『アッラーフンマ・ラー・ タイラ・イッラー・タイルカ。ワ・ラー・ハイラ・イッラー・ハイルカ。ワ・ラー・イラーハ・ガイルカ（アッラーよ、あなたを差し置いて、吉凶の原因となるようなものはありません。あなたの善の他に、善はありません。あなた以外に真に崇拝すべきものは、ありま
せん。）』と言うことである。」
[真正] [アハマドの伝承]

アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はこのハディースの中で、こう言っている：何かを不吉に感じることゆえに、決心したことの実行を止めてしまう者は、一種のシルクを犯したのである、と。サハーバがその大きな罪の贖罪について尋ねると、彼はハディースの中にある貴い言葉を、彼らに教示した。その言葉の中には、アッラー に物事を委ね、アッラー以外の何ものにも力などは備わってはいないことへの示唆が含まれている。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/3416